

研究助成金交付事業開始 (一社)CER 研究会が発足

新規性のある呼吸療法関連の開発を促す



呼吸療法分野で、急性期 NPPV 専用装置を日本でいち早く紹介、導入するなど常に時代をリードしてきた、エムエフコンサルタント代表取締役・片平俊治氏。

その片平氏がこの度、新規性のある呼吸療法分野の機器・用品の開発を目的とした、「一般社団法人 CER 研究会」(事務局:東京都文京区湯島3-31-1)を設立し、医療職や医療関連事業者を対象に研究助成金交付事業を開始した。

日常業務で生じる工夫点や疑問からひらめきが生じ、新たな製品開発につながるが、なかなか実現しないことが多々ある。

実のところ、様々な研究助成事業があるが、大学に属する研究者に限定される場合も多く、中には成果物の権利が考案・研究者自身ではなく所属機関に属されるケースもあることから、研究者、開発者により直接的に還元され、特に若手研究者に還元される仕組みにしたいと、この研究会が発足した。開発製品の権利を研究会と開発者双方とするとしている。

研究助成金は、1件あたり百万円としているが、製品試作等の費用は送付協議の上、さらに助成金の加算も可能としている。

対象者は、医師・看護師・臨床工学技士・理学療法士および医療関連事業者。今春には公募を開始するとしている。